

総務常任委員会

移住・定住施策等について行政視察

10月10～12日、兵庫県宍粟市、滋賀県高島市、大阪アンテナシヨツプ、大阪府において行政視察を行いました。

宍粟市では、コンパクトシティの施策や移住・定住施策について、高島市では、若者の定住・移住促進事業について、大阪アンテナシヨツプでは、青森・岩手ええもんシヨツプについて、大阪府では、住宅つき就職支援プロジェクトについて視察研修し理解を深めました。

今後の委員会活動において、復興まちづくりなど市政発展のために活かしていきます。



子育て支援団体等と意見交換

11月14日、人口減少対策として子育て支援の現状と課題を調査するため、子育て支援団体の代表の方や子育て中のお母さん方と意見交換を行いました。

子育て支援団体からは、地域全体で子育て支援をする環境や枠組みの重要性、行政・病院・民間の連携強化や情報共有の必要性などについて、また、子育て中のお母さん方からは、遊び場や子育て用品の買い物の場の環境整備、子育ての相談体制の充実、育児中でもできる仕事の業種が少ないことなど、子どもを産みたいお母さんたちが出産に前向きになれるような支援の充実が必要との意見をいただきました。

大船渡高校の生徒たちと意見交換

12月4日、人口減少対策に対する若者の意見調査のため、岩手県立大船渡高等学校を訪問し、59名の生徒たちと意見交換を行いました。

テーマは「将来何を目指し、どう思うか」「若者が定住・移住するには何

が必要か」、「進学後、地元に戻るためにやっておくべきことは何か」、「大船渡市が若者にとって魅力あるまちになるために、何が必要か」などで、3班に分かれて意見を交わしました。

生徒からは、仕事や子育て支援、高齢者施策、観光や商業施設の充実、交通の整備や地元のPR方法、ITを活用したまちづくりなど多岐に渡る意見が出されました。



教育福祉常任委員会

介護老人保健施設や特別養護老人ホームを視察

11月20日、介護老人保健施設「気仙苑」を、12月19日、特別養護老人

ホーム「成仁ハウス百年の里」を訪問し、いずれも施設見学と職員の方々と意見を交わしました。

気仙苑では、各階にある機能的な部屋の利用状況や利用者の方が機器を使ってリハビリする様子を見学しました。また、地域包括ケアシステムにおける介護老人保健施設の位置付けや療養介護の現状、介護の人材確保対策について説明を受けました。

百年の里では、どの部屋も外光が差し込む構造となるユニット型の完全個室など、入居者に配慮された部屋の様子を見学しました。また、入居者個人を尊重したパーソナルケアの取組や人材確保の現状、福祉行政における課題などの説明を受けました。

いずれも今後の課題解決に向けて、活発な意見交換となりました。



産業建設常任委員会

岩手県水産技術センター を視察

11月10日、サンマやサケなどの記録的不漁により価格の上昇や在庫不足など当市の水産業に大きな影響を与えていることから、現状や課題等について把握するため、岩手県水産技術センター（釜石市）を視察しました。

初めに、事業の概要、サンマ・サケ・サバの資源管理、アワビの増殖とワカメの養殖について現状や課題等の説明を受け、その後、カキ生産の現状、サンマやサケの今後の回遊動向、アワビを増やすためのウニ対策、マダコの豊漁などについて意見交換し、水産資源の現状に理解を深めました。



復興特別委員会

11月30日、復興特別委員会（議長を除く19名で構成）を開催し、29年2月に市に対し提出していた、復興に係る諸課題に対する第1次提言（震災以降では全部で9つ目）への市の対応状況について、市の各部署から、7月に引き続き2回目の説明を受けました。

各委員からは、応急仮設住宅支援協議会の活動状況や子どもへの心のケアの体制について、水産業に係る資源確保について、BRTの利便性の向上についてなど、多方面にわたる質問や意見が出されました。

今後、復興特別委員会では、総務・教育福祉・産業建設の3つの部会で、今年度のそれぞれの調査活動等をもとに第2次提言書をまとめ、平成30年2月下旬を目途に、市に対し提出する予定としています。

気仙地区議会議員協議会

11月9日、気仙地区議会議員協議会（気仙2市1町の議員全員で構成）では、岩手県に対する要望活動を、大船渡地区合同庁舎で行い、気仙地区2市1町の行政上の諸課

題を9点にまとめた岩手県知事あての要望書を、桐野敬沿岸広域振興局副局長に提出しました。

特にも、「国際リニアコライダー（ILC）の北上山地への誘致実現」、「東日本大震災からの早期復興・復興」、「国道の改良整備促進」の3点を重点項目として掲げ、実現に向けて強く働きかけました。



派遣職員との懇談会

10月30日、昨年度に引き続き、当市の復興に日々ご尽力いただいている応援職員の方々を対象に、午前十と午後の2回に分けて「議会研修会」を開催し、懇談しました。

初めに、議長から日々のご苦労に感謝を述べるとともに、議員が当市議会の概要や震災後から最近

までの議会の活動を紹介し、その後、職員から普段の仕事や当市の印象などについて感想や意見を伺いました。

「復興事業も終盤を迎え携わっている事業の道筋を見届けたい」、「さんま焼き師の資格をとる方も多く、「派遣元に帰っても大船渡の魅力を発信していきたい」、といった温かい意気込みのほか、「地域のまつりやスポーツサークルなどに参加している」など、積極的に当市の生活に溶け込んでいる様子を聴くことができました。また、内陸への道路整備の必要性や地域の公共交通のあり方、医療機関の充実についてなど、多くの意見をいただきました。

